

# 令和4年度第4回運営推進会議議事録

日時： 令和4年12月9日（金）～令和4年12月13日（火）  
会場： 新型コロナウイルス感染防止の為、電話による書面会議で行う  
出席者：

利用者家族	2名	斐川高齢者あんしん支援センター	1名
地域住民の代表	11名	その他（ホーム長・専務）	2名
欠席	なし		

この度の会議における流れについて

## ① 令和4年 12月1日（木）～3日（土）

当施設より運営推進委員の皆様へ会議内容を文章にて郵送致しました。

令和4年 12月9日（金）～13日（火）

運営推進委員の皆様へ事前にご都合の良い日時を確認した上で、上記日程にてお電話し、会議内容に関するご意見や情報などをお聞かせ頂きました。

（電話の所要時間：お一人あたり15分～20分）

.....  
（議 事）事前に資料を送付。案内状にはお電話する日時の明記を添えている。

## 1.新型コロナウイルス施設内感染での教訓

- ・当施設で発生した新型コロナの状況
- ・DMAT・県庁・保健所の指導より
- ・感染を防ぐために今後行っていくこと

## 2.当施設で行っていること

- ・ 笑うこと・競うこと
- ・ 季節を感じる行事
- ・ 「したい！」とを感じる企画の立案

## 3.職員研修

- ・ 節電で私たち職員に出来ること

### 【運営推進委員様のご意見】

（新型コロナ施設内感染での教訓）

・私の勤務先では、抗原検査はあまりあてにならないことも多く、職員は風邪症状があればPCR検査を行っている。  
また、本人や家族で風邪症状があった場合は休ませるようにしている。

・陽性者5名で収束したことは訓練の賜物だと思う。実際に大変だったとは思いますが起きてみないとわからないこともたくさんあるだろう。その中で、心の部分に配慮をされて特に食の部分で皆さんの満足感を得たことは間違いのないと思う。

・窓を開けての換気は冬場については、寒くなるので難しくなると思う。CO<sub>2</sub>メーターを設置して、適宜の換気

も良いと思う。

・2週間で収束したことはとても素晴らしいことだと思う。『共闘』という言葉があるように、職員さんと共に一致団結してされた成果だと思う。濃厚接触者となった利用者さんも下手にコロナを恐れずに普段できなかったことをされたり、食事を楽しまれたりするということは安心されているからだと思う。それは日々のホームの方針だったり職員さんの対応だったり日頃の関係が良いから、利用者さんが不安を少なくしてお部屋で前向きに取り組んでおられたんだと思う。

・外部からの協力も含めて早い対応で被害が少なかったと思う。

・感染1日目は、電話対応が70件あった。実際に起こってみたいとわからないことも多かったが、大変大きな経験になった。(専務)

・職員さんへの心のケアが大変だと思う。是非メンテナンスをして差し上げて下さい。

(当施設で行っていること)

・笑うこと、というのはとても大切で、特に大きな声で笑うことがとても良いことだと思う。楽しんで笑って過ごすことが大切である。

・いろいろな企画に参加させてもらっている姿を見て嬉しく感じる(利用者ご家族)

・運動会での競うというのはとても大切ですよね。いつまでたっても競うことを忘れてはいけませんね。

・荘原文化祭に行きました。出展作品、良かったですよ。素敵でした。

・職員・利用者が一緒になって何かをやるというのはとても素晴らしいですね。

(職員研修)

・節電に関しては、冷蔵庫の温度設定を冬場は下げたり、首元を温めるだけで3-4度上がるので、是非試されてはどうか。

・いち早く施設として取り組まれていると思う。職員一人一人の意識がとても大切なことですね。

・施設の努力だけではなく、家族への負担も検討されてはどうか。

・節電の研修、取り組みが早いと感心する。

⇒来年1月より水道光熱費を10%上げようとお家族に説明をしている所です。(専務)